

報道関係者各位

2022年5月12日
No.1

金沢ゆわく小水力発電所の竣工式を執り行います。

株式会社新日本コンサルタントは、かねてより建設していた金沢ゆわく小水力発電所が完成し、ここに竣工式を執り行います。

■竣工式

- ・日時：2022年5月15日（日）10：00～
- ・場所：金沢市湯涌曲町
（旧白雲楼河内発電所跡地）
- ・出席者：
湯涌地区関係者、地権者
金沢市、工事関係者



金沢ゆわく小水力発電所



水車発電機

■金沢ゆわく小水力発電所 について

金沢ゆわく小水力発電所は、二級河川大野川水系浅野川（湯涌曲町・湯涌河内町）に位置する旧白雲楼河内発電所の再生・復活を行う事業です。

旧白雲楼河内発電所は、北陸で最大規模といわれた白雲楼ホテルへの自家発電施設として、昭和10年代の電力不安定期間に設置された水力発電所でありました。その後、白雲楼ホテルが営業停止となる平成10年3月まで、60年あまり発電所として役割を果たしていました。

本事業は、2014年8月より可能性調査、地元調整、許認可取得、各種設計等を実施し、2020年10月に工事着工、2022年4月に運転を開始いたしました。本事業推進に際し、湯涌地区を始めとした地元関係者の皆様には多大なご協力を頂き、竣工に至る大きな推進力となったことあわせて申し上げます。

当社としても、浅野川水系で唯一の小水力発電所である旧白雲楼河内発電所の再生・復活事業を通じ、金沢市の奥座敷と称される金沢湯涌温泉周辺の地域活性化・地域振興への取組みにも寄与したいと考えております。なお事業の管理・運営はグループ企業のNiX 湯涌ハイドロパワー株式会社及びニックスニューエネルギー株式会社が行います。

金沢ゆわく小水力発電所概要

所在地	石川県金沢市湯涌曲町イ78番地3
取水河川	大野川水系浅野川
水車形式	ポンプ逆転水車
発電使用水量	0.26 m ³ /s
有効落差	77.7 m
最大出力	160 kW
年間発生電力量	1,176 MWh：一般家庭約280軒分
運転開始	2022年4月

■NiXグループの再生可能エネルギーへの取り組み

NiXグループが取り組むエネルギーマネジメント事業の発電事業のうち、本件は、国内小水力発電所としての第3号案件となります。NiXグループは、今後もインフラコンサルティング事業や国内外での再生可能エネルギーの電源開発を通じ、【サステナブルな社会に必要なレジリエントな企業】を目指し、より一層地域に不可欠な企業となるよう努力いたします。

種類	発電所	場所	稼働時期等	認可出力
太陽光発電	NiX八尾ソーラーパワー	富山県富山市	2014年10月	1,260 kW
小水力発電	平沢川小水力発電所	石川県金沢市	2015年5月	198 kW
小水力発電	庄川水系湯谷川小水力発電所	富山県南砺市	2019年1月	843 kW
小水力発電	金沢ゆわく小水力発電所	石川県金沢市	2022年4月 [本件]	160 kW
水力発電	インドネシア トンガル水力発電所	インドネシア	建設中 2022年内予定	6,200 kW
水力発電	インドネシア ケタウン水力発電所	インドネシア	開発中	13,000 kW
太陽光発電	インドネシア 屋根置き太陽光発電事業 (第三者所有モデル)	インドネシア	契約締結済 約12,500kW	内、完工済 5,330 kW

※各発電出力は出資比率ベースではなくプロジェクトベース

New Infrastructure X



株式会社 新日本コンサルタント

- 富山本社 〒930-0857 富山市奥田新町1番23号
- 金沢支店 石川県金沢市古府1丁目104番地1
- 代表者 代表取締役社長 市森友明
- 創業 昭和54年（1979年）4月

- 資本金 8,000万円
- 売上高 単体：26億2千万円（2021年6月期）
グループ：42億7千万円（2021年6月期）

■主な業務内容
総合建設コンサルタント、補償コンサルタント、
測量調査業、新エネルギー開発事業

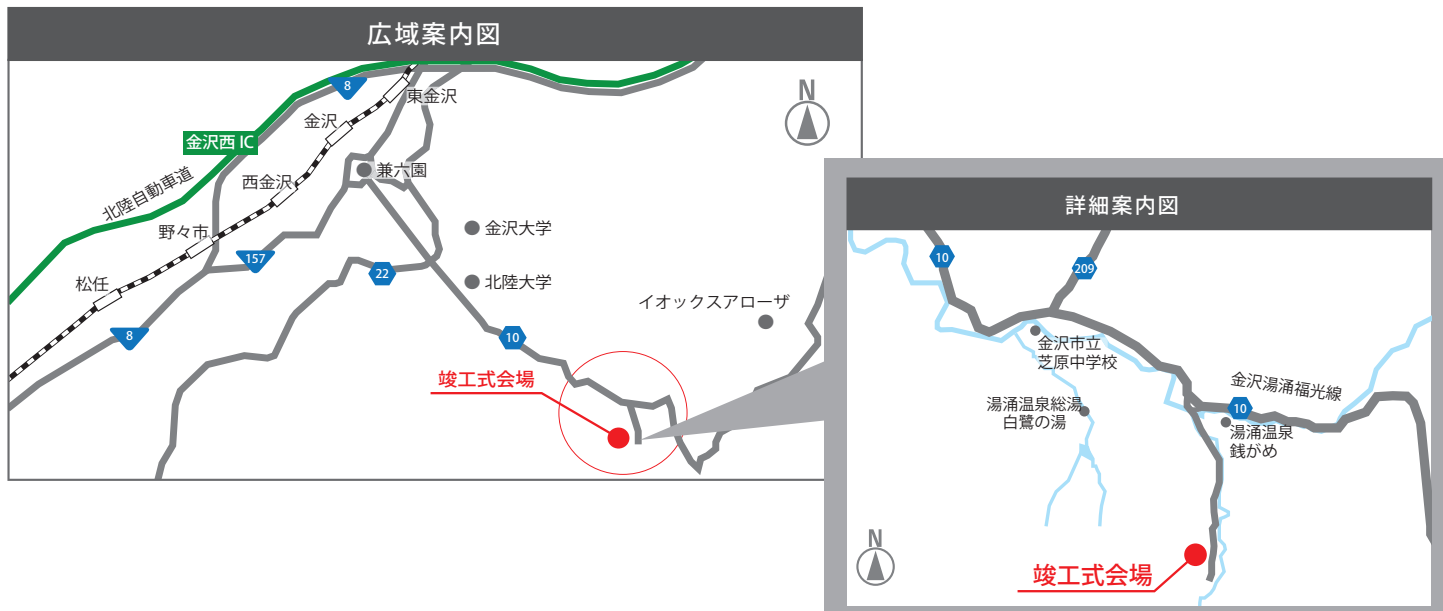
- グループ企業 総合建設コンサルタント7社
国内発電事業3社
海外発電事業5社

■従業員 単体：223名（正社員数196名）
グループ：379名

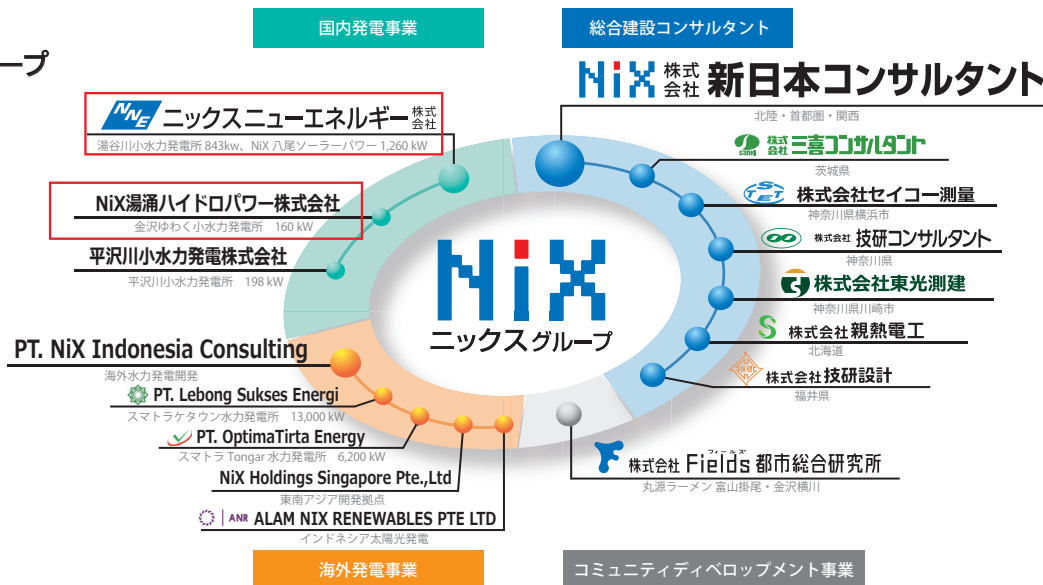
報道関係者各位

2022年5月12日
No.2

金沢ゆわく小水力発電所の竣工式を執り行います。



■NiX グループ



■竣工式アトラクション：五箇山塩硝鉄砲隊火縄銃演舞について

竣工式のアトラクションとし、五箇山塩硝鉄砲隊火縄銃演舞を予定しています。

竣工しました金沢ゆわく小水力発電所がある金沢市湯涌地区と弊社 湯谷川小水力発電所がある南砺市五箇山地区は、加賀藩の時代には火薬の主原料である硝石が盛んに生産されていました。その点と点を結ぶ硝石の運搬ルートが「塩硝の道」といわれており、2013年3月に金沢市崎浦公民館、湯涌地区塩硝研究会、刀利会、五箇山自然文化研究会、太美山自治振興会の5団体の構成により「塩硝の道広域研究会」が設立され、「五箇山塩硝鉄砲隊」はそのプロジェクトの一環として北陸地方で初めて編成（2014年9月）された火縄銃鉄砲隊です。

歴史的な火縄銃の演舞を通じて、五箇山塩硝の歴史を後世に伝えていくことを目的として活動されており、今回は、長野県上田市から「信州真田鉄砲隊」も応援に駆けつけ、ゆかりの地 湯涌地区にて竣工式のアトラクションとして演舞いただくこととなりました。

※今回は、規制により火薬を使用せずに鉄砲隊演舞を行います。